

「おかやま夢白桃」の樹勢を向上させる 土壌管理方法

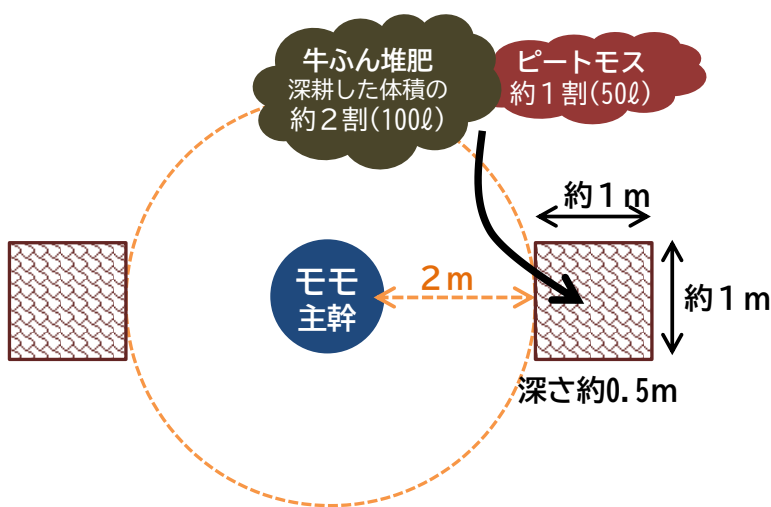


図1 樹勢が低下した樹に対する土壌改良方法
(平面図)

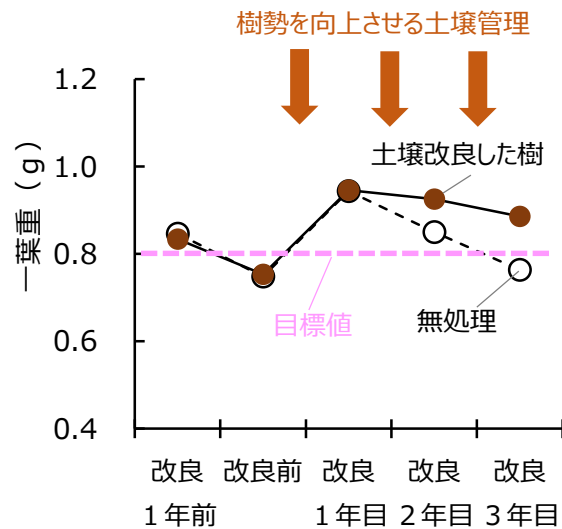


図2 土壌改良による樹勢の向上

開発のねらい

「おかやま夢白桃」は、大玉で玉揃いがよく糖度が高い品種ですが、根が浅いため樹勢が低下しやすいことが問題となっています。樹勢が低下すると、成熟期が前進し、果実の肥大も悪くなります。そこで、樹勢を向上させる土壌管理方法を明らかにしました。

新技術の概要

- 落葉後の10～11月に、樹冠内の2か所を約1m四方、深さ50cm程度まで深耕します。そして、深耕した体積の約2割(100L)の牛ふん堆肥と約1割(50L)のピートモスを混ぜ合わせて埋め戻します(図1)。翌秋以降も行う場合は、深耕する位置を変えます。
- 開花前の3月中下旬に、速効性肥料(硝酸加里、硫酸、尿素など)を10a当たり窒素成分で2～3kg施肥します。
- 上記の土壌改良を開始して2年目以降に、効果が現れます(図2)。

活用場面

土壌管理は、樹勢の評価指標(満開120日後の葉身長15cm以上、葉1枚の重さ0.8g以上など)を参考にして、樹勢が低下している場合に毎年行います。